

適応外使用医薬品に関する情報文書

2026年5月20日作成 第1版

医療の内容	心膜炎に対するコルヒチンの投与
対 象 患 者	心膜炎でコルヒチンが必要な患者さん
承認診療科(医師)	循環器内科（所属医師全て）
承認日・期間	2025年 1月 7日 承認日より無期限
概 要	【目的・意義】 急性心膜炎に対してコルヒチンを服用することは、有効性が高いとされており、日本では適応外ですが、欧州では標準的薬物療法として欧州心臓病学会（ESC）ガイドラインに掲載されている治療です。再発予防にも効果が認められる薬物とされています。 【予想される不利益と対策】 主な副作用として、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛、発疹、全身のかゆみ、発熱、脱毛、血尿、乏尿などが報告されています。担当の医師に相談してください。 また、下記のような症状があらわれた場合重篤な副作用の初期症状である可能性があります。このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。 出血傾向、のどの痛み、発熱、筋肉が痛い、手足の力が入らない、尿の色が濃い（赤褐色になる）手足のしびれ、痛み、感覚のまひ。 このような症状以外にも投与後に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。
当センターの審査（薬剤委員会および倫理委員会）において承認を受けた上記の治療について、対象者となられる方から同意をいただくことにかえて、病院ホームページにて情報を公開することにより実施しております。 本件について同意できない場合、この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、本件に同意できない場合にあなた自身のへの日常の診療における不利益はありません。	
問合せ先および適応外使用を拒否する場合の連絡先： 〒360-0197 埼玉県熊谷市板井1696 担当医にご連絡ください。 埼玉県立循環器・呼吸器病センター TEL：048-569-9900（代表）	